

言語圏とディアスポラ文学

プログラム

10.27 (金) 高麗大学国際館 13:30-17:30

「次世代フォーラム」および「自由パネルセッション」

10.28 (土) 東国大学茶香館ゼミナール室、法学館

[基調講演] 10:30-11:40 茶香館ゼミナール室

フェイ・阮・クリーマン [コロラド大学]

バイリンガル・ハイブリッド・テキスト

——『吾輩は猫である』から『吾輩は猫になる』まで

[シンポジウム①] 13:00-15:20 法学館257号

ディアスポラ文学と想像力

エドワード・マック [ワシントン大学]

金煥基 [東国大学]

高榮蘭 [日本大学]

[シンポジウム②] 15:40-18:00 法学館257号

コリアン・ディアスポラの文学

李漢正 [祥明大学]

李丞鎮 [東国大学]

金季籽 [高麗大学]

[パネルセッション] 13:00-18:00 法学館255, 256号

跨境と創造

移民たちのアジア

移動と言語圏

まなざしの移動

10.29 (日) 東国大学明進館 9:30-15:00

「自由個人発表」及び「自由パネルセッション」

10:00-12:00 運営会議 及び 編集会議				
	会場1・302号 次世代フォーラム 1	会場2・305号 次世代フォーラム 2	会場3・104号 次世代フォーラム 3	会場4・317号 自由パネルセッション
	司会：柳政勲 (高麗大学)	司会：金普慶 (高麗大学)	司会：金季杵 (高麗大学)	司会：尹芷汐 (名古屋大学)
13:30 - 14:05	解放 (東京外国語大学院生) 安部公房の初期変形作品研究 —「被抑圧者の物語」と「経験」をめぐって	張玉(北京師範大学院生) 中国における黒岩涙香の小説『野の花』の劇化 —文明劇を中心に	金旭(高麗大学院生) 〈外地〉の高等教育機関と植民地学生の文学活動 —兪鎮午と黃得時を中心に	自由パネル①「朝鮮半島における日本語民間新聞の文芸物」 李承信(培材大学) 日本と韓国の昔話の越境 —朝鮮半島で発行された日本語新聞を中心に
14:05 - 14:40	張愛眞(明治大学院生) 1985年、その「美味しい」恋愛へようこそ —山田詠美「ベッドタイムアイズ」論	尹慧敏 (九州大学大学院生) 樋口一葉における〈夜〉の表象	史瑞雪 (北京師範大学院生) 世界文学と国家民族觀念から見る謝六逸著日本文学史 —編纂動機と時期区分を中心に	李允智(高麗大学) 植民地朝鮮における日本語新聞の読者文芸 —新年文芸と勅題の關係を中心に
14:40 - 15:15	沈載賢(高麗大学院生) 遷ろうメタファー、遷ろう井戸 —村上春樹の『騎士団長殺し』を踏まえて	朱田云(復旦大学院生) 『少年行』論 —「牧夫さん」、「宮川」と「牧夫君」の呼称をめぐって	施欣儀(輔仁大学院生) 台湾における日本語関連学科修士課程の研究動向について —輔仁大学を対象に	李炫熹(高麗大学) 朝鮮半島で発行された日本語新聞『京城新聞』の文芸物研究 —「探偵實話—奇縁」を中心に
休憩				
	司会：片龍雨 (高麗大学)	司会：崔佳亨 (高麗大学)	司会：中野綾子 (早稲田大学)	司会：飯田祐子 (名古屋大学)
15:40 - 16:15	王占一 (名古屋大学院生) 「支那国民性」をめぐって —雑誌『満蒙』掲載・柴田天馬訳『聊齋志異』	李嘉慧(高麗大学院生) 「美人」と「醜業婦」を往来する在朝日本人芸妓の表象 —『朝鮮公論』の視覚資料と言説を中心に	李貞和(高麗大学院生) 私小説に対する一考察 —西村賢太『苦役列車』を中心に	自由パネル②「戦争文学におけるジェンダー・セクシュアリティの問題系」 呉聖淑(韓国外国語大) 日本女性文学者の〈文学報国〉
16:15 - 16:50	南有玟 (高麗大学大学院生) ライトノベルの韓国的変容 —「ミヤルの鞞韃」を中心に	武藤優 (九州大学大学院生) 日本興行界における日本人舞踏家と朝鮮 —1930年～1945年を中心に	南相瑁(高麗大学院生) 神戸連続児童殺傷事件と文学における作家意識の考察 —柳美里の『ゴールドラッシュ』を中心に	趙柱喜(祥明大学) 戦争文学と慰安婦表象 —伊藤桂一作品を中心として
16:50 - 17:25		張雅(名古屋大学院生) 金子光晴『マレー蘭印紀行文』における苦力の表象	許庭禎(輔仁大学院生) 沖縄と日本との關係についての研究 —米軍基地を中心として	光石亜由美(奈良大学) 戦争のトラウマと文学 —もしくは、石塚喜久三とエロティックな戦争

【二日目／28日（土）】

会場：東国大学茶香館ゼミナール室，法学館 255, 256, 257号

10:00-10:30		開会式（東国大学茶香館ゼミナール室）		
10:30 -	11:40	基調講演 （東国大学茶香館ゼミナール室） 司会：呉佩珍（政治大学） フェイ・阮・クリーマン （コロラド大学） 「バイリンガル・ハイブリッド・テクストー『吾輩は猫である』から『吾輩は猫になる』まで」		
11:40-13:00		休憩		
		会場1・257号	会場2・255号	会場3・256号
		シンポジウム①「ディアスポラ文学と想像力」 司会：李志炯（淑明女子大学） 討論：李在聖（中央大学） 中根隆行（愛媛大学）	パネルセッション 「跨境と創造」 司会：杉本章吾（高麗大学） 討論：李先胤（弘益大学） 李正旭（全州大学）	パネルセッション 「移動と言語圏」 司会：鄭炳浩（高麗大学） 討論：金泰暲（嘉泉大学）
13:00 -		エドワード・マック （ワシントン大学） トラウマとしての流転 —古 野菊生の『転蓬』と共感的想像力	林雪星（東呉大学） 日向伸夫から見た満洲 —「第八転轍機」「窓口」「春遠胡 同」「木の芽立」を中心に	王志松（北京師範大学） 版本、バイリンガルと境界性 —楊遠「新聞配達夫」論
15:20 -		金煥基（東国大学） コリアン・ディアスポラ文学 の境界意識と‘トランスネー ション’	単援朝（崇城大学） 日中女性作家が描いた「中国残 留孤児」像 —山崎豊子『大地の 子』と巖歌苓『小姨多鶴』を読む	中野綾子（早稲田大学） 書物の流通・入手経路にみる戦場 での読書行為 —漢口兵站図書館「つ はもの文庫」を例として
		高榮蘭（日本大学） 絶叫と沈黙のあいだ —「文学・記憶・女」の移動を 軸に	坂元さおり（輔仁大学） ハードボイルド・ミステリが問 い直す「植民帝国としての日 本」—船戸与一『満州国演義』試 論	林涛（北京師範大学） 童謡詩人金子みすゞと中国 —その詩の受容を中心に
			呉佩珍（政治大学） 津島佑子の帝国残影三部作 —『あまりに野蛮な』『葦舟、飛ん だ』『ヤマネコ・ドーム』を中心に	陳愛華（重慶大学） 中島敦における混血の表象 —文化的混血性の問題を中心に
15:20-15:40		休憩		
		シンポジウム②「コリアン・ディアスポラの文学」 司会：蔡淑香（白石大学） 討論：波瀲剛（九州大学） 辛承模（東国大学）	パネルセッション 「移民たちのアジア」 司会：日比嘉高（名古屋大学） 討論：申河慶（淑明女子大学） 韓程善（漢陽大学）	パネルセッション 「まなざしの移動」 司会：中村静代（弘益大学） 討論：朴真秀（嘉泉大学） 姜宇源庸（カトリック関東大学）
15:40 -		李漢正（祥明大学） 在日女性の自伝 —彼女の物語としての歴史	横路啓子（輔仁大学） 台湾における新移民の女性た ち —ドキュメンタリーフィルム 『失婚記』を中心に	范淑文（台湾大学） 真杉静枝の台湾描写 —女性への眼差し
18:00 -		李丞鎮（東国大学） 在日メディア『ほるもん文化』 研究	金孝順（高麗大学） 1920年代植民地朝鮮の文化政 策と懸賞文学 —京城日報社の 懸賞小説における内鮮融和と 内鮮結婚の表象を中心に	阮文雅（東呉大学） 里村欣三と戦時南方 —「ピリツ農場」をめぐる
		金季杼（高麗大学） 近代韓日文学の接触地帯	李征（復旦大学） ディアスポラを生きる —武田泰淳『風媒花』の意味	石川巧（立教大学） ひとりひとりの死を弔うために —長谷川四郎「小さな礼拝堂」論
				和泉司（豊橋技術科学大学） 1980年前後の邱永漢 —小説「女の国籍」を中心に

【三日目／29日（日）】

会場：東国大学明進館 309, 321, 324号

	会場1・309号 自由個人発表①	会場2・321号 自由個人発表②	会場3・324号 自由パネルセッション
	司会：李征 (復旦大学)	司会：宋惠敬 (韓国放送通信大学)	司会：波瀾剛 (九州大学)
9:30 - 10:05	李郁蕙 (広島大学) 日本語作品の翻訳をめぐる 問題 —王昶雄「奔流」を例に	中村静代 (弘益大学) 植民地朝鮮における怪談言説の 考察 —崔南善「朝鮮の怪談」を中 心として	③「『京城日報』における植民地 朝鮮の文学と文化」 任ダハム (高麗大学) 植民地朝鮮における最初の新聞小 説の映画化と『京城日報』— 映画 (妖鬼流血録) (1929) の製作背景を めぐって 姜元珠 (高麗大学) 新聞小説に於ける武士道の認識 李賢珍 (高麗大学) 戦争と時局お伽ばなし 李顯周 (高麗大学) 『京城日報』における子供連載漫 画研究 李憲正 (高麗大学) 『京城日報』に登場した朝鮮弓術 記事研究
10:05 - 10:40	阪本博志 (宮崎公立大学) 日中戦争・アジア太平洋戦 争から東西冷戦へ —大宅壮 一の活動をめぐって	咸忠範 (漢陽大学) 植民地朝鮮映画の中の実存 人物 —1941年に公開された劇 映画を中心に	
10:40 - 11:15	尾崎名津子 (弘前大学) 坂口安吾の〈恋〉と〈主体〉 —占領期日本におけるサルトル の役割	日比嘉高 (名古屋大学) 統制経済と書物流通 —帝国の国策書籍配給会社	
11:15 - 11:50	下岡友加 (広島大学) 戦後台湾の日本語小説・黄 霊芝文学におけるユーモア	柳川陽介 (ソウル大学院生) 帝国大学出身者の日本語小説 —李孝石と京城帝国大学を中心と して	
11:50-13:00			
	司会：中根隆行 (愛媛大学)	司会：坂元さおり (輔仁大学)	司会：厳仁卿 (高麗大学)
13:00 - 13:35	多田蔵人 (鹿児島大学) 旅・記憶・動作 —泉鏡花の文体生成	李志炯 (淑明女子大学) 奇形的身体性に投射された優生 思想の転覆的拡張 —江戸川乱歩 『孤島の鬼』の不穏な世界	④災害を語る—震災以降のメデ ィアと震災表象 杉本章吾 (高麗大学) 記録とフィクション —「3.11」以 降の震災マンガにおける「災害」の表 象 金普慶 (高麗大学) 若い世代と震災の記憶 —テレビ ドラマにおける「あの日」の経験 崔佳亨 (高麗大学) 震災詩・震災短歌とSNS —震災以後に浮上する日本語の力 李焯宣 (高麗大学) 馬鳴 鄭宇洪・社会主義者・刑務 所・関東大震災 —葉山嘉樹と小林多喜二
13:35 - 14:10	吴佩軍 (華南師範大学) 『満洲国』時代のハルビンの 都市表象 —竹内正一の作 品を中心に	洪潤杓 (誠信女子大学) 三島由紀夫「わが友ヒットラー」 と「楯の会」	
14:10 - 14:45	尹芷汐 (名古屋大学) 「日中友好」の時代とテレ ビ・ドキュメンタリー『シ ルクロード 絲綢之路』	石川隆男 (台湾大学) ディアスポラの創造性 —張文環の眼差し	
閉会式 (東国大学明進館321)			